

会報

No. 13

1982年10月
日本分子生物学会
事務局発行

◆第5回日本分子生物学会年会のお知らせ

年会プログラムが印刷できましたので、お届けいたします。年会についてのお問い合わせ、ご連絡は下記にお願い致します。

〒170 東京都豊島区上池袋1-37-1

癌研究所生化学部

村松正実 または 藤井義明

電話 (03) 918-0111 内線 2646~2649

◆会費納入についてのお願い

事務局の記録に従い、57年度会費未納の方々には封筒に「会費切れ」の赤印をおしました。会費未納の方は至急お支払い下さる様お願い致します。

正会員学会費 2,500円

(但し、在学証明書を提出したときは 2,000円)

会費納入には、郵便振替(二票式、青色)をご利用下さい。振込み先は次の通りです。

日本分子生物学会会計事務局

(東京 2-13518)

◆昭和56年度 会計収支決算報告

昭和56年度 会計収支は以下の通りになりましたので報告いたします。

会計幹事 溝 渕 潔

(1) 収入の部

摘 要	金 額
学会費(含入会費)	2,466,492(円)
年会要旨売却	4,740
銀行預金利息	18,011
前年度からの繰り越し	1,422,826
(計)	3,912,069

〔Ⅱ〕 支 出 の 部

摘 要	金 額
1. 事 業 費	(7 7 4,0 0 0) 円
会 報 発 行	1 0 4,0 0 0
第 4 回 年 会 プ ロ グ ラ ム	5 0,0 0 0
第 4 回 年 会 補 助	5 0 0,0 0 0
講 演 会 謝 金	1 2 0,0 0 0
2. 評 議 委 員 会 費	(1 0 0,0 0 0)
評 議 委 員 会 会 合	1 0 0,0 0 0
3. 一 般 事 務 費	(9 0 4,1 3 0)
一 般 事 務 用 品 費	4,6 6 0
印 刷 費	5 1,5 3 0
郵 便 費	3 2 4,6 8 0
一 般 事 務 謝 金	5 0 6,0 0 0
送 金 手 数 料	5,4 0 0
そ の 他	1 1,8 6 0
4. 翌 年 度 へ 繰 り 越 し	2,1 3 3,9 3 9
(計)	3,9 1 2,0 6 9

会 計 監 査 報 告

昭和 57 年 10 月 5 日 会計簿, 預金通帳, 領収書, 学会費払込通知票などの監査を行ない, 決算に誤りのないことを確認した。

日本分子生物学会会計監査

杉 村 隆 ㊟

岡 田 吉 美 ㊟

◆ 第 6 回 日 本 分 子 生 物 学 会 年 会 に つ い て の お 願 い

第 6 回 年 会 (年 会 委 員 長 藤 永 蕙) は, 1983 年 8 月 22 日 (月) ~ 8 月 25 日 (木) の 4 日 間, 札 幌 市 ・ 北 海 道 大 学 に て 行 な わ れ ま す。例 年 よ り 約 3 ヶ 月 は や く 開 催 さ れ ま す の で, 講 演 申 込 締 切 り も 3 ヶ 月 は や い 1983 年 5 月 末 を 予 定 し て お り ま す。御 協 力 を お 願 い 致 し ま す。

なお、遠隔地のため往復旅費を含む年会出席費用の軽減を意図し、阪急交通社に幹旋を委託しました。つきましては、年会参加状況を事前に把握することが必要ですので、年会開催迄9ヶ月余を残しておりますが、ぜひ同封のアンケート調査に御協力をお願い致します。

◆ tRNA国際ワークショップに関するお知らせ

主 催 tRNA 国際ワークショップ組織委員会
共 催 日本生化学会, 日本薬学会, 日本分子生物学会
日 時 昭和 58 年 3 月 22 日 (火) ~ 25 日 (金)
会 場 箱根宮ノ下 富士屋ホテル
(神奈川県足柄郡箱根町宮ノ下 359)

討論主題

- 1) tRNA の一次構造と修飾ヌクレオシド, tRNA の化学合成, tRNA と生物進化
- 2) tRNA の生合成 (転写と転写後修飾) と tRNA 遺伝子の構造
- 3) 細胞内顆粒 (オルガネラ) の tRNA の構造と機能, オルガネラの遺伝情報とタンパク質合成
- 4) tRNA の細胞分化, 癌化, 制御機構への関連
- 5) 物理化学的手法による tRNA の高次構造の解析
- 6) アミノアシル tRNA 合成酵素, その構造及び tRNA との相互作用

本ワークショップ (International tRNA Workshop in Japan, 1983) は 1970 年より 2 年に一度開催されている tRNA に関する定期的国際会議の第 7 回にあたるものです。会議は非公開で、海外より約 80 名、国内より約 40 名の参加を予定しております。

主な海外参加予定者

J. Abelson	(米, カリフォルニア大)
S. Altman	(米, エール大)
B. N. Ames	(米, カリフォルニア大)
D. Apirion	(米, ワシントン大)
C. J. Bruton	(英, インペリアルカレッジ)
B. F. Clark	(デンマーク, アールス大)

S. J. Clarkson (スイス, ジュネーブ大)
F. Cramer (西独, マックスプランク研)
J. E. Dahlberg (米, ウィスコンシン大)
G. Dirheimer (仏, CNRS)
B. Dudock (米, ニューヨーク州立大)
J. P. Ebel (仏, CNRS)
M. Grünberg-Manago (仏, CNRS)
U. Lagerkvist (スウェーデン, ゲッツボルグ大)
W. H. McClain (米, ウィスコンシン大)
J. A. McCloskey (米, ユタ大)
P. L. Schimmel (米, MIT)
D. Söll (米, エール大)
U. L. RajBhandary (米, MIT)
M. Zaslhoff (米, NIH)

参加希望者は所属, 氏名(発表者に○印), 研究発表題目(英文)を添え, 組織委員会宛お申し込み下さい。

人数に制限がありますので, 参加の可, 否は組織委員会に御一任下さい。
なお参加費(20,000円)とホテル宿泊費(約60,000円)は自己負担となります。

参加申込締切り 昭和58年1月5日
連絡先 tRNA国際ワークショップ組織委員会事務局
〒104 東京都中央区築地5-1-1
国立がんセンター研究所生物学部内
TEL 03-542-2511 内664

◆第三回国際細胞生物学会議に関するお知らせ

日時 昭和59年8月26日～31日

会場 東京

上記に関し, 第1回サーキュラーが発行されました。ご希望の方は下記にご連絡下さい。

第三回国際細胞生物学会議

会長 妹 尾 左知丸

重井医学研究所

〒701-02 岡山市山田 2117

Tel. (0862) 82-3113 (代)

◆ **BMY 分子生物学研究奨励金受領者推薦募集について**

本学会賛助会員 ベーリンガー・マンハイム山之内株式会社は我国の分子生物学若手研究者助成のため、大学院在生またはこれに準ずる研究者に対して研究奨励金の贈呈を行うことになりました。受領者の選考については本学会に依頼されましたので推薦をうけたい方は下記に従って応募して下さい。

1) **BMY 分子生物学研究奨励金応募者の資格**

次の各号に掲げる者で優秀な研究能力を有し、適当な指導者の指導を受けて研究に専念しようとする者

- i) 大学院に在学中の者で所属教室の教授、指導教官（日本分子生物学会会員であること）の推薦をうけて応募する者
- ii) 特に学位取得後1年以内の者で、所属研究機関の教授、指導教官（日本分子生物学会会員であること）の推薦をうけて応募する者

2) **贈呈件数と金額**

1 件 1 名 研究奨励金 30 万円

3) **応募方法及びメ切り**

以下の書類等を昭和 57 年 12 月 19 日 必着で、日本分子生物学会事務局まで郵送する。応募書類等は原則として返還しない。

- i) 所定の応募用紙に必要事項を記載したもの 5 部（コピーも可）
- ii) 論文目録に記載された論文の別刷 5 部（コピーも可）

4) **本学会からの受領者推薦手続**

本学会からの受領者推薦は 1 件 1 名であり、応募研究につき本学会内で慎重に検討の上 1 件 1 名を受領者として推薦し、ベーリンガー・マンハイム山之内株式会社へ通知する。

5) **研究奨励金の贈呈**

ベーリンガー・マンハイム山之内株式会社に於て行う。

6) 応募用紙 請求先

ベーリンガー・マンハイム山之内株式会社

学術部 研究奨励金応募係

〒101 東京都千代田区神田多町2丁目9番地

神城ビル内

TEL 03-252-2781

7) 応募書類郵送先

「日本分子生物学会」事務局

〒108 東京都港区白金台4-6-1

東京大学医科学研究所

生物物理化学研究部内